京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年 紀元二千五百七十一年
新聞代金 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢 ▲七十字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 富永久太郎
印刷人 松久靜一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話 京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜報

●動亂と滿洲の經濟（外務省通商局調査）

或る筋に達したる淸國動亂と滿洲各地に於ける經濟影響の概要を記せば如左

△營口ー硬貨の預金　紙幣引換より硬貨市中に停滯するも商業不振なるを以て銀貨使用の途なく左ればとて淸國銀行へは危ぶみて預金せず盜難を恐れて床下に埋め又は安全なる地方の友人等に托する狀況なりしが頃日我が正金銀行、正隆銀行に當座預金をなすもの漸く增加せり

△紙幣の信用恢復す　一時局切迫と共に過爐銀の相場は小洋錢四十五元六十錢迄に下落し現實銀に對しては四十四兩上海爲替は三百五十兩の加色を要し我が正金票は百二十二兩の騰貴なり斯くの如くなるを以て道臺及總督の名を以て紙幣交換期限及通用勵行方法に付告示を發せり

△海城ー海城は官憲の慰諭により奉天票の取引稍回復せるも上海陷落の報に接するや再び信用地に墜ち流通杜絶の狀態なり尚ほ奉天地方より家族を携帶し同地に避難するもの續々あり

△鳳凰城ー革命黨の爲め亦不穩の狀態にありとの報鳳凰城其他の地方に傳はるや住民等に大刺戟を與へ種々なる謠言流布せられ市況稍亂調を呈しつゝあり隨つて同地商界に及ぼす影響不尠

△奉天ー當地に於ける淸國人經營の質商は何れも動亂の起らんこと危惧し貸出を中止せし爲め本邦人經營の質商は俄かに活氣を呈し日々平素の約三倍の貸出高を算し居れり而して貸出金を著しく低下しつゝあるも不服を唱ふる質入主皆無なりと云ふ

△鷄冠山ー近來革命動亂の益々優勢にして其の餘勢近々滿洲に波及せんとするの報至るや支那人間に於ては各市場及其他一般の商略に於ける甚だしき打擊を被り淸國紙幣は一般下落の兆候を呈しつゝある際安東奉天等も既に不穩の兆を呈したるが如く隨て大銀行の取付又は兌換停止等の事を喧傳し奉天票及黑龍江手票の如きは全く信用失墜し少數の大淸銀行票を除く外は殆んと杜絶せんとするの傾向あり

雜錄

●溫突迷語錄（一）

歪の權太

◎地球に軌道あり鐵道に鐵軌あるが如く吾人も亦各自先天的に定められたる一定の軌道を有す、而して其軌道は各自の遺傳と境遇と其他の雜駁の事情によつて作り上げられたる性格を伴ふとして畫きたる圓周なり、故に吾人は如何にアセルも藻掻くも其性格によつて畫かれたる圓周の外に脫出する能はず氏よりも育ちと云ふ、而も氏が泥棒にして育ちがカツパライなりとせよ、其奴の行く可き道は正に牢獄に通す、アセルも藻掻くも其甲斐あらんや、蓋し其アセリやモガキや以て氏の遺傳と育ちの境遇に到底打ち勝つ能はざれば也

◎悔悟と云ふ言あり、改心と云ふ言もあり、されど、悔悟は得意の時に來らず失意の時にのみ來る、好都合には悔悟は決して來らざるもの也、親爺の前に於ける放蕩息子の改心呼はりは二進も三進も全く窮り果てし時か、然らざれば親爺の意見に申し開く可き術なきの時なり、

◎在監囚人の悔悟は一身の苦痛より來りし一時的の感態の發作にして永續的のものに非らず、喉元過ぐれば熱さを忘るゝもの、初犯再犯三犯と次第に圖太くなるは改心せざるに非らずして改心が一時的の感情に過ぎざるの例證に非らずや

◎悔悟と改心は滑稽にして無價値なるもの要は性格の改造にあり、而して性格の改造は遺傳より着手して物質的境遇の改善に迄及ばざる可からず、現代の法律と、宗敎と敎育とが此大問題に相關する所果して幾何なりや。

◎世に忠告、指導、敎訓等程結構にして難有ものは非らず、而して又此等の難有言葉程無責任にして且つ無價値なるものは非らず、斯うせよ、ア、せよ若しくは爲す可からず言ふ可からず、と相手の位地と事情に何等の同情を拂はずして單に自己の立脚地より割し出して他に之れを強んと欲す、人生れて被忠告者被指導者たること勿れ、謹んで拜聽せざれば親切を無にする奴だと捨てらる可く謹聽して猶ほ行ふ能はざれば意苦地無し、てふ冠詞は甘んじて之れを頂戴せざる可からず、

◎水に溺るゝ者既に手足の自由を失ひて僅かに仰いで救を求む堤上に游泳の名手ありて頻りに手眞似足眞似を以て斯うせよ、ア、せよと游泳の秘術を數へ且つ忠告を與へたりとせば、而も四圍の壓迫によつて全然身体の自由を奪はれたる水中の彼にとつて果して幾程の功果あらん、

◎世の多くの友人の忠言と先輩の指導而して學者の敎諭とは悉く堤上よりする游泳家のそれの如し、特に宗敎家に於て其甚だしきを見る、迷ふ勿れ、唯自ら救へ堤上の敎訓に從へば益々深みに辷り込むものなりと知るべし。

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者 九皐館去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事

一、締切期限來る十二月二十日

一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

外事一束

▲桑港　在留日本人日本人協會支部を設立し勳四等ブーイ氏支部長に被推撰

▲最後　通牒を拒絶されて露政府兵を波斯に向け露兵今やテヘランに進軍中

▲勞働　保險法案何等の修正を經ることなく上院を通過し其の主義是認さる

▲居宅　附近のクロチヤグヌ河に陷りウオター侯溺死し屍体發見せられたり

▲墺國　參謀總長辭職し維也納の人心激昂を極む蓋し其の辭職理由とする所

▲伊土　戰爭に顧み國境に軍事上の大計劃を立てんとし外相と衝突せしに在

▲ベ卿　英海軍省が軍司部を有せんとするを喜ぶとの演說を試む而も世上此

▲露軍　省の激變は總て之れ英獨兩國間の危機に基けるに依ると傳ふる者多

▲昨冬　ローサンゼルスタームス社を爆發せる犯人マ兄弟裁審決定し有罪に

▲終結　を告ぐ爲めに米國所在の勞働黨の打擊を受けたること甚大なりと云

梁川庄八

第五十回　小金井蘆洲演

茶屋の婆アが　婆『モシ〳〵皆様御目が覺めましたか』新『此婆アめ何んだ乃公達を嘲弄するな、お目が覺めましたか抔と、今の浪人者は何處へ行つた』婆『モー疾うに御歸りになりましたよ、アモシ御刀は御探しになりましても有りは致しませんわ、彼の御浪人様が御持ちになりました』新『何だと持て行つたと』婆『左様で……丸腰では城中へ歸れまいから、欲しければ跡から取りにこい一時預かつて行くと仰しやいました』齋『一体彼れは何處の者だ』婆『御城下連雀町上州屋藤兵衛方へ永く泊つて居る者だと仰しやいました』新『ウム齋藤山田何としよう、見物の奴原が笑つて居るから早く行こうぢやないか』二人『左様〳〵出掛けやう』と三人痛そうな顔をして、痛處を押へて迚も大通りは外分が惡くて行けないから、裏通りをコソ〳〵急いで舘山の城下へ這入て來た、連雀町の上州屋の手前の所まで來てヒヨイと見ると、奥州仙臺破牢の浪士梁川庄八正國宿と云札が出て居るのを見て、新『オヤ齋藤……山田……此頃諸方で評判を聞く、梁川庄八と云御浪士は當上州屋に泊つて居るんだな、モシ最前の浪士が梁川殿では有まいかしら』齋『左様さね』と三人が立行て話をして居ると上州屋藤兵衛は此容子を見て、帳場から出て店先の所で　藤『モシ〳〵北山様齋藤様山田様いらつしやいまし、へ、、、』三人『藤兵衛眼に笑ふなよ』藤『へイ先程から貴方の御入來をお待ち申ていて、ございますから、何ぞ此方へ』三人『何我々の來るのを待てたいでとは、何と仰しやるお方だ』藤『其處へ宿札が出て居りなす、梁川様と仰しやります旦那様が』三人『何んだ梁川氏……夫では先刻の其れ方か』藤『左様で上總東金御滯在の節、天下無双の剛力士鬼面山馬五郎を土俵の上で投殺して、代官の森本甚太夫殿を謝罪せ、詫證文と金を取た程の強い方を對手に杯なすつて飛んだ事をなさいました』三人共名前に怖けて顔の色青褪めてガタ〳〵顫へだした　新『何とか云て居つたか』藤『私が『旦那様大層御刀をお購めになりましたなと、御尋ね申ました所が、ナニ斯んなくだらない物を何で買つて來る奴がある者か、鶏組とか申す城内の若い悪侍が、城下本町三丁目立花屋吉兵衛の家内嫁に亂暴を働いたから、見兼て仲人に這入た所が理不盡にも拙者へ斬て掛つたにより、三人共敲打ちに斬て了はうかと思たが、不祥の血を以て辨天の境内を汚すも如何と心得、柔術を以て一時息の根を止めて參つた、併し刀丈は斯様な野獸同様の若侍に持たして置くと、町人共が迷惑をするだろうし、のみならず第一里見家の恥辱にも相成る事だから取擧げて參いつた、就いては無刀では城中に歸る譯にも行くまいから、此處に取りに來るに相違ない云置て來だから、參つたら乃公が殘らず斯つて城下町人の憂を除いてやると、斯う仰しやつて先刻から二階でモー來るだろう〳〵と御刀を撫たり收めたり、腕が唸つて困るに依て劍の舞をするんだと待てた居でゞございますよ』三人『威嚇すな全くか』藤『全くで御座いますとも、何で手前が旦那方へ嘘を云ふ者ですか、實は私は皆様を深く思ふから内々御聞かせ申すのですよ』三人愈々驚いて了つたが、何かヒソ〳〵囁いて　新『夫では藤兵衛迚も乃公達がお目に懸つた處で刀を返して貰う事は出來んから、何とか其方詫を入れて取戻して呉れる譯には行かぬか』藤『夫は唯の町人同志の喧嘩なら私も扱ひも致しませうが、貴君方のお腰の物を取上げたのを、手前が口を開いたからとて、私に任して下さる氣遣ひはありません、兼てお腕前に於ては御城下で御評判の貴君方でございますから、一つ眞劍勝負をなすつては如何でございます、若し夫が出來ませんでしたら御自身に御詫をなすつて取戻した方が宜敷うございさあ』三人『サア其處をお前の盡力で御詫をしてくれんか……頼む……』藤『夫は永らく御滯在で私には至てよくなすつて下さいますから、お膝を抱いて御話を致しましたら御承知下さらんでも有ますまいが、傀儡師首に掛たる人形箱佛出そうと鬼を出そうと、と云歌が有りますが御存知でしよう、其處は魚心あれば水心でな……御判りでげすか』三人『判つたよ……』三人で紙入を叩いて三兩　三人『是を遣すから何分頼む、宜敷扱つてくれ』藤『左様でげすか誠に御氣の毒様で頂きます』と金を受取つてペロリと脇を向いて舌を出した

廣告

男女　ちゞれ毛　くせ毛　赤毛は何程の縮毛も本的矯正黑化す
新發見　專賣特許
右藥液を勧券封入申込の方に效能書
許て美髮に治て差上升
●東京市麻布區材木町　岩阪澄子

今日此頃は貴婦人紳士の唯一の化粧品なる
クリームレモン
御使用必要の季節に候
又御進物に頗適當に候
京城　龜屋

外科專門
京城旭町一丁目歌舞伎座南隣（電話六九二番）
院長　鈴木謙之助
鈴木外科病院
ワツセルマン氏梅毒有無ノ診斷法ヲ行（六百六號注射應需）

新荷着
藤木銃砲雜貨店
西洋雜貨洋酒類
毛織物絨氈敷物類
銃砲火藥免許商
鑛山火藥ダイナマイト
歐米家具室內裝飾品
米國製ストーブ石油暖爐
大日本麥酒會社特約店
R. FUJIKI & CO

米豆　定期　現物　仲買
仁川米豆取引所仲買
ヤ　橋本彌三郎　電話一〇七番
京城　ヤ　橋本出張所　電話一六八二番

電話開通　二千七十一番
京城大和町一丁目
大和倶樂部　辻伊重

京城に於て最も靴を安く賣る靴店は獨り北村靴店
有のみ京城聯合大賣出加入店
◎……ボツクス一枚皮深ゴム
◎……ボツクス變形淺ゴム　四圓五拾錢
◎米國製ボツクス一枚皮編アゲ
◎同キツクス一枚皮深ゴム　六圓五拾錢
英國製キツクス一枚皮編アゲ
獨逸製ボツクス上等　七圓五拾錢
英國製キツト上等一枚皮深ゴム編アゲ　八圓五拾錢
歐米皮革直輸入高等靴製造販賣
京城本町一丁目郵便局前電話一四七
東京北村支店

內科　外科　小兒科　梅毒　淋病
京城壽町三丁目　電話一二六番
高井醫院
小兒科專任　大阪醫學士　植利彦
院長　陸軍軍醫正　高井貞治

東京電報

▲**印度王族接見所の火災** 印度デリーに火災あり王族の接見所燒失し印度皇帝の戴冠式準備に幾分の支障を與へたり

▲**東京市內の强震** 六日夕刻十餘分間に亘る强震ありたるが被害なし

▲**全國商議聯合會** 第十八回全國商業會議所聯合會は五日午前十時より東京商業會議所に於て開會正副議長選擧の結果議長には中野武營副議長には根津嘉一郞氏當選し夫より議長の指命にて會計委員を仙臺、橫濱、京都、大阪、長崎の會議所委員に囑托し次いで廣島商業會議所會頭早速整爾氏の發議にて牧野、山本兩相に出張を乞ひ政府の豫算及政黨の大体方針を聽取したしとの建議案を提出し滿場一致を以て可決し議長より其出席要求手續を爲したるも本日は閉議定日に就き遺憾乍ら出席する能はずとの回答を得一先散會午後一時より提出議案に就き議事を開く

▲**總長陸相密議** 清國動亂に關する帝國の廟議既に決せし折から夫かあらぬか奧參謀總長は午後一時石本陸相を本省に訪問し長時間密議する所ありたり

▲**武漢宛の電報** 上海發遞信省着電に曰く武昌宛の電報は上海より電信に依り傳送せらるゝも漢口宛の電報は九江より郵便に依りて送達せらるゝ官衙國局より通知ありと

▲**南京秩序回復** 其筋着南京發電報に據れば占領後の南京は目下秩序回復しつゝあるを以て危險の狀なく曩に他所に避難せる各國領事も漸次城內に歸還の模樣なるが我領事は依然城內にあり一時閉鎖せられたる各商店は白旗揭揚の下に開店せりと

北京特電

▲**攝政王の退位** 攝政王は大勢の推移に餘儀なくせられ遂に退位せり

▲**皇帝の補佐役** 世續徐世昌は皇帝補佐役に任命せらる

▲**北清の各國兵** 北京に於ける各國外交團の決議に基き駐屯兵の增派は各國より續々輸送せられつゝあるが其結果各國の北清駐屯兵は佛國千三百八十八人獨逸三百五十四名英國(本國及印度兵共)千八百四十人米國百八十七人日本千二百人等なるが未だ一兵をも派兵せざるは獨墺伊の三國なるも之等も近々增派の計畫中なりと

▲**外交團と財政權** 北京外交團は基礎確實ならざる清國財政を支配するに決し此旨北京朝廷に通告し上下の驚き絕頂に達し時局之れより進展せん

▲**警戒愈々嚴密** 革命黨員續々入京し爆彈其他の破壞的手段に出でんとすとの說あるにより貴人商官の憂慮一方ならず警戒益々嚴密を加ふ

上海電報

▲**新嘉坡支那人決議** 新嘉坡に於ける十萬餘の支那人は近々入港すべき歐州船に孫逸仙乘込めるを豫期して公園に於て歡迎會を開き更に清國皇帝を廢し共和政府とするの決議文を發布すべく委員會にて可決せり孫が愈々上海に着すれば官革媾和談判に一頓挫を來すならんと豫想さる

▲**軍艦武昌援助** 南京攻擊に參加したる革命軍の軍艦は糧食彈藥の補充中なるが其の半數は武昌革命軍を援助する筈なり

雜報

●**發電水力調查現況** 既報發電水力に關する調查は當局者に於て漢江大同江錦江の三流域を踏查中なるが既に踏查濟の地點には測量班を二組に分ちて出張せしめをれり尙各流域とも渴水時期に入るを以て水量の測定を專らとしをれりと而して雨量及水位の觀測設置に就ても現今頻りに續行しつゝありと

●**戾稅廢止と當局意見** 內地醸造酒醬油戾稅廢止につき京城に於ける醸造業者が昨今寄り〱協議を重ね近々の中當局に向つて請願を爲すべしとのことは既報の如くなるが某當局者の語る所によれば『未だ醸造業者よりは何等の交涉に接したることなきも要するに朝鮮の現狀よりすれば戾稅の如きは一日も早く廢止するを可とす否な日本帝國の領土たる朝鮮と內地との間に凡ての關稅の存するあるは不條理なるを以て戾稅廢止の如きは蓋し枝葉の問題なりされど內地にあつて朝鮮よりの移入稅撤廢は自由なれど內地よりの移入稅撤廢は列國に宣言の手前其の期間迄は困難なるべし而して朝鮮に於て昨年醸造せし日本酒は約三萬石なるが近來にいたりては生產超過の傾あり如斯事は朝鮮に於ける醸造事業の盛んなるを證して餘りあるものなるが又朝鮮に在る內地人は比較的贅澤なるを以て內地酒を需用するもの多數ありされば朝鮮の醸造家にあつては精々內地と同樣の酒を醸造せんの方針を取るを要す之れ蓋し朝鮮の經濟上重要なる問題なればなり

●**大阪商船と朝鮮沿岸航** 既報の如く朝鮮沿岸を航海し居れる各汽船會社及び船主は合同して朝鮮郵船會社を起し總督府保護の下に該沿岸航路を獨占せんと企劃し總督府にても相當の保護を加ふるの目的にて事進行中なりしが何分此等各船舶の多くは老朽船にして大小種類錯綜し利害を異にする各船主は合同後の成績を危ぶもあり今に成立確定せず而も其等の中には老朽船を株券に換へて一時の利を博せんとする者もなきにあらず然るに大阪商船會社は其勢力も頗る强く關西にける內地沿岸航路は總て其掌中に歸して更に新發展の餘地を索めつゝあるの際なれば會社にては朝鮮沿岸航路に着目し調查すると共に總督府に向つて內交涉を試み居れりとの事なり現時總督府にても亦商船會社の該沿岸航路に就かんを希望する樣子也而して大阪商船にては朝鮮沿岸の交通を完備せんには一百噸乃至四五百噸の船舶四十隻を要する見込にて既に買收すべきもの約二十隻あるを以て他二十隻は從來內地に使用せしものを以て補充すべき計畫なりと

●**寺內總督歸期** 滯京中なる寺內總督には本月十五日頃歸任の筈なりしも都合により本月二十日後池田通信局長官秋山參事官の一行と共に歸任する由

●**松井參事官談** 時局に關する重要任務を帶び清國へ出張の途次六日夜入京したる松井外務省參事官を訪問す氏の語りし所左の如し(一記者)
清國の動亂は什うなるだらうつて?何分重大の事件だから右から左と然う容易くは言ひ得ぬさ、早い例が漢陽が落ちれば官軍が威張り出し又た南京が陷落さ來れば革命軍の意氣昂るさいつた有樣なんだから事件の紛糾重大なる丈け尙ほ今後の發展を觀なければ何とも斷言は出來難い、無論我輩の任務は清國動亂に關することだ關することではあるが夫れは今玆に明言は出來ぬ併し世間で種々と揣摩臆測を逞うする程のものではないよ、京城に一泊したのは特に用務のあつた譯でもなく長途の旅行は疲れるし鳥渡息を入れる爲めで以前二度までも京城に居つたことがあるので昔の古巢懷しさに立寄つたといふ迄だ、最初當地へ來たのが廿七八年役當時其の次は三十五年だがね來る度に京城の進歩の著るしいには驚く此度も實は其の變遷の急劇なのに驚いて居る位だ、併し古くから來て居る內地人は別として其の外に渡鮮した實業家等に多少の資產を作たつものがあるかね然うはなからう、什うしても朝鮮には新產業例へば鑛山業とか工業とかを盛にしなければならぬさ、只從來の如く大豆や米穀のみを主產物として居た分には到底朝鮮內地人の發展も望み難い、又た鐵道だがね我輩も今度初めて朝鮮の鐵道には乘つた譯だが大分方々へ鐵道が敷設せられ又た敷設されんとしつゝあるやうだが、左程方々に鐵道を布設することの果して產業上若くは軍事上に必要があるか什うかは大に考ふべきことだ、滯清日數かね、今夜南大門を發つて奉天に直行し左程急く旅でもないから同地に一泊市中を一日見物して直に大連を經て北京に向ひ約二週間で用向を濟まして歸路は大連から汽船で年內には東京に歸る豫定だ、清國は初めてかつて、否北京には以前暫く居つたこともあるよ。

●**亞細亞協會支部** 同部は來る十二日午後四時半當地米國總領事館內にて其例會を開き席上ゲール博士の朝鮮諺文に關する論文朗讀ある由なり

●**支那動亂と水產物** 清國動亂に關し內地及び朝鮮に於ける輸出品は直接間接其の影響を被るものあるは言ふ迄もなきが唯水產物のみは內地及び朝鮮共何等の影響なく殊に昆布類の如き重もに長江方面に輸出するものは既に今夏輸出を終り鯣及び干鰮其の他は重もに香港方面に輸出するを以て是又何等の影響なく却つて鮭鱒等の如きは此の際大に歡迎さるべく彼の大坂經由の豆滿江の鮭の如きは今の場合盛んに輸出さるべしとのことにて當業者は些しも悲觀の模樣なしといふ

●**移入超過と半島の經濟**(四)
△淺野三井出張所長曰く朝鮮貿易上移輸入超過を見るは連年のことにして此現象を呈するに至りしは必らず其之を誘致せし原因の伴ふものなるべきものなり而して今は其遠因は措き最近の原因を討究すれば恩賜公債の分布及び鐵道の起業等を大なる原因となさゞるべからず然かも此等の恩賜公債や鐵道起業たる所謂人爲的即ち外部から積極的に作られたるものにして決して自然的のものにあらざるなり故に假令玆に移輸入超過を生じたりとしても其移輸入品の內容に生產的と不生產的の種類含まるゝを以て母國より注入されたる資金が道路或は鐵道等他日產業を起す上に於て與つて力あるものに投せらるれば移輸入超過も必ずしも憂慮すべきものにあらざるも今日の如く恩賜公債分布のために鮮人間に奢侈の傾向を惹起せしめ彼等が折角贏ち得たる財產を不生產的に消費するに因て輸移入超過の現象を呈することは實に憂ふべきことにして半島經濟界の前途を樂觀せむと欲するも能はざるなり故に此際當面の急務として鮮人間に貯金思想の發達を促がし彼等に產業の途を與へ以て彼等の折角得たる資金を不生產的に消費せしめざるに努むるを要す、近年朝鮮主要輸出品たる米穀大豆等の價格の騰貴に伴ない移出額も增加すべく又朝鮮內地の農事改良或は鑛山事業に對する內地資本家の投資等昨今頻々として行はれつゝあれば自然鮮人の懷を溫かならしむることとなるべきを以て其鮮人の手に入りし金の無益に消費せらるゝを防ぐ爲め換言すれば朝鮮產業開發上の放資をして迅速に蒐集する機關即ち郵便貯金、貯蓄銀行又は之に該當すべき小銀行を各地に設置する必要の益々切なるを感ぜずんばあらず蓋し一度放資されたるものをして再び吸收する其時間短小なればなる程朝鮮經濟界の利益なればなり云々
△岡崎日韓瓦斯專務曰く朝鮮貿易に於ける輸移入超過は決して今日に始れるにあらず既に明治卅三年より同四十二年に至る十年間に於ても一億三千萬圓の輸移入超過を示し其の內四千百九十六萬二千圓は同じく右十年間に於ける金銀貨地金銀葉錢銅貨等の輸移出累計額に依つて決濟せられ殘金一億一千八百三萬八千圓の超過額は理論上內地政府の朝鮮に於ける支出、內地人の放資、諸外國人の朝鮮に對する資金輸入、出稼人の仕送金、外國船舶の消費、外國諸官公衙の經費等に依つて決濟せられたることゝ成るものなり然れども此等の形勢は單に一時的のものにして決して永續的のものにあらず然るに朝鮮に於ける輸移入超過の現象は朝鮮今日の事情に顧みて今後も尙ほ依然永續すべきものたるを信ぜざるべからざるの傾向を有す即ち玆に於て彼の朝鮮銀行の正貨準備問題の勢ひ起らざるを得ざることゝなるものにて予は拙著『財政と金融』にも述べたるが如く常に朝鮮銀行無用論を主張するものたれば或程度までは貴社の論議に左袒するものなり云々

●**年末と稅關休廢** 京城日本人商業會議所より南大門稅關出張所に宛て京城各商店聯合大賣出中通關貨物取扱事務の敏捷を圖るため日曜大祭日を廢して執務されたき旨の照會に對し同出張所にては從來と雖も貨物停滯の虞れある時は日曜大祭日を廢して執務し來りたれば此れ迄聊かも停滯せしことなくされば十二月に限り全然休日を廢することは如何あらんとの意嚮の下に昨今審議中の由なるが多分會議所の要求を容るゝことゝなるべし

●**授產場主任會議** 京畿道授產場主任會議は既報の如く目下開催中なるが日々各科主任の講演あり六日は久次米技師の園藝談七日は三田屬の養鷄說明八日は更田技師の桑皮製紙の講話あるべしと云ふ

●**內地鑛業家の經營** 內地の大鑛業家等朝鮮の鑛業に從事すべしとの事既報の如くなるが古川組は既に熙川郡に於て十余鑛區を出願し村井吉兵衛氏の代表者村井眞雄氏も同樣十余鑛區を出願し尙昌城其他にも經營の計畫あり淺野、藤田、三菱、大倉等は既報の如き方面にて目下頻りに調查採鑛中にして外に九州の安川敬一郞氏も大規模に平北方面に於て金鑛採堀に從事すべしと云ふ

●**關稅法規案脫稿** 豫て其筋に於て起草中なりし關稅令保稅令及其他これに關する法規類の案は此程愈々脫稿したるを以て近日法制局へ廻附の筈也

●**地方產業等の調查** 內務部地方局にては地方產業制度の善良なるものを獎勵すべく調查中なるが紀念植林貯蓄機關及び各種契約等には有益と認むべきもの少なからずといふ

●**龍山有志と漢江** 龍山有志諸氏は來る十日仁川稅關備付の小蒸滊船に便乘し午前九時龍山埠頭を發し仁川に下航し漢江水運の利用に付研究すべしと云ふ

●**松井參事官の行程** 清國動亂に關する重要任務を帶び清國へ出張の途次六日夜入京したる外務省參事官松井慶四郞氏は七日午後總督府の差立馬車にて市中を巡覽し同夜八時四分發列車にて奉天に直行し同地に一泊の上直に北京に向ひ重要任務を果し年內には大連より汽船にて歸東する豫定なりと

●**仁川取引所改革計畫** 仁川米豆取引所にては今回仲買人の拘留等の變事に際し六日重役會議を開き善後策に付き種々協議する所ありしが從來の方針を打破し大改革を斷行し現時四萬五千圓の資本を三十萬圓に增資すると同時に仲買人の保證金從來千五百圓なるを倍額三千圓に增加し尙仲買人の資格を確定し內地に於ける取引所法に依らんとの意見各重役共一致せしより來る一月早々株主總會を開き提議に及ぶ筈なりと

●**民會流會と開會期** 京城民團 六日開會の筈なりし京城民會は出席議員定數に達せざるため流會となり更に九日開會のことに決定せり

●**猖紅熱と學童父兄** 京城民團龍山小學校にては去月十四日生徒中二名の猖紅熱患者發生し越ゑて十五十六の兩日に亘りて又々二名の患者を發したるより一週間の臨時休暇をなし其間大消毒を施したる間もなく二十八日より本月三日にかけて更に南大門小學校と高等女學校に四名の患者發生し何れも輕症にてさしたる事なきも此際父兄は兒童に對し一層の注意を拂はれたしとのことなり

●**十一月中鑛業處分** 十一月中に於ける鑛業の出願は六十四件外に砂鑛十件許可八砂鑛十二讓渡は六件砂鑛一廢業二十廢鑛二十取消六砂鑛四なり而して出願手數料收納額は九千八百四圓なり

●**土地家屋買坪數** 京城民團管轄內に於て最近內地人が朝鮮人より買入れたる宅地は五百三十四萬三千二百八十五坪家屋百七十三萬七千六百七十四坪にして朝鮮人が內地人より買入れたる宅地は百八十七萬九千六百四十六坪家屋七十四萬七千七百七十五坪なりといふ

●**東亞セメント出張所** 在尼ヶ崎東亞セメント會社にては朝鮮に於ける販路擴張のため曩に社員を派し當地の狀況を視察中なりしが過日愈々出張所を設け營業を開始したりといふ

●**鴨綠江渡航杜絕** 五日より鴨綠江は下流新義州附近に於て全部結氷し渡航は杜絕したり

●**政務總監の引籠り** 山縣政務總監は七日微恙のため引籠中なりしを以て松井外務省參事官にも面會せざりしと

●**藤原陵雄氏の入京** 藤原商會主藤原陵雄氏は滿洲商況視察の途上六日夜入京天眞樓に投宿七日午後八時半奉天直行の列車にて滿洲に赴く由

●**小松長官の往訪** 小松總務部長官は七日午前十一時天眞樓に松井參事官を往訪し數刻會談せり

●**基督敎青年會兩幹事** 大連基督敎青年會幹事ヒッバード氏は京義線より日本基督敎青年會同盟本部幹事フィッシャー氏は京釜線より何れも七日午後八時當地青年會訪問の爲來京す

●**保安林に編入の山林** 咸鏡北道幾山郡十九町三反步江原道襄陽郡五十八町五反步慶尙北道慶州郡四十四町二反步同善山郡二百四十七町一反步は何れも國有林なりしが今回保安林に編入されたり

●**水陸運輸會社の解散** 資本金三千圓より成る水陸運輸會社は本店を京城南部盤石坊に支店を開城釜山寫山等に設け主として運送事業に從事し居れるも其內容に不正の行爲ありたるを以て六日付を以て解散を命ぜられたり

●**外波少將の送別宴** 外波少將轉任に付山縣政務總監は其官邸に各部長官局長以上及同夫人を招待し七日午後六時より送別宴を開く

●**民團學校の冬期休學** 京城民團經營の高等女學校は來る廿日限り尋常高等小學校は廿六日限り孰れも冬期休學す

●**女子稻扱の傳習成績** 京畿道廳にては曩に地方費中より五百餘圓を支出し水原に於て鮮人女子稻扱の傳習會を開催したるが傳習生百六十名にして其の成績は頗る良好なりしといふ

公人私人

▲池田常吉(大坂臺灣銀行理事) 六日天眞樓へ
▲小原彥太郞(營口水道會社技師) 六日釜山行
▲伊藤寬五郞(國民新聞記者) 六日釜山行
▲藤原陵雄 七日南大門發夜行列車にて滿洲へ赴く

▲京城手形交換高▼

十二月七日	金高 二六三、三四八、四二〇	枚數 七九七

▲茶袋▼

清國動亂に就ては、列國孰れも沈默を守りて事の成行如何を注目するに余念なきものゝ如きも、其は表面の事實であつて裏面の活躍は隨分と目覺ましいものがあるらしい△近頃日英米三國が居中調停の勞を執る事となつたといふ取沙汰のある所へ、松井外務省參事官は北京に出張を命ぜられ其途次當地へ立寄つた△時局に就て何か新らしい消息を知らむと欲する本社の一記者は早速參事官を旅館天眞樓に訪問し種々の質問を發したが氏は輕く受流して語る所は頗る不得要領であつた△併し參事官が渡清の途に上つた當日の外務省は極めて多忙を極め、次官局長等は午後七時頃迄重要會議をつゞけ、內田外相も六時頃迄執務してをつたといふ事である、此點から考へるとたゞ世人が松井氏の北京行を重大視してをるのも强ち揣摩臆測として斷ずる譯にはゆかぬ△此程東京の春秋會席上で內田外相が小村侯の外務大臣となつたのは四十七歲の十月で、吾輩も當年四十七で十月に外相の任を受けた十年後には小村の跡を趁ふかも知れぬと云ふと德富蘇峯が侯爵となれば死して餘榮ありと言つた△スルト外相は、國民新聞の御加勢を願はねば中々侯爵にはなれませぬと當意即妙の挨拶をして、こゝ外交官の妙手を見せたので流石の蘇峯タンも二の句がつげなかつたそーだ。



●請負業者の恐喝

▽外妾の元の情夫を

請負業者の恐喝と題して昨紙所報したる土木建築請負業黒川組の主人黒川初次郎が兵庫縣人にして當時北部三淸洞居住三木勉(十九)を新町大和新地萬遊樓の娼妓たりし信夫事原田あい(二〇)の事に關し暴行恐喝し六日南部署に引致されたる事件の內容を報道せんに

▲加害者三木勉 は昨年十二月中旬兵庫縣立中學校三年修業中家事上の都合より退學し當時當地本町一丁目小川勝平氏の事務員たりし寺井弘なる者を便りて渡鮮せしも希望したる程の奉職口なきにぞ寺井より小川氏に嘆願し同事務所員に採用せられ實直に働き居たるが本年一月中當時本町一丁目にて料理屋營業中なりし萬遊樓の酌婦たりし前記原田あいと馴染たる以來互に憎からず思ひ合ひ

▲末は夫婦と言交 はし主人小川氏の不在の折は暇さへあれば電話にてあいを事務所に引き入れ巫山戯廻る事何時しか小川氏の耳に入りしより嚴重訓戒する所ありしも蛙の面に水同樣一向改悛の模樣なきにぞ遂に三月中旬解雇されたる後は世話する人ありて鐵路通り代書業安藤和一郎方の事務員に雇はれしが替來小悧巧の彼は忠實しく立働きしより間も無く安藤の信用を得收入金を胡魔化してはあいの許に通ひ居し內小料理店集中の事あり萬遊樓も又新町大和新地に移轉したる後も相變らず懲け居りしが十月中旬に至りあいより質受金

▲二十餘圓の無心 を受け仲居のたいし立會の許に金十五圓を與へたるが幾何もなく安藤の知る所となり十一月中旬解雇せられしより三木は止むなく現住所に引移りたるものなるが一方

▲加害者黑川初次郎 が三木勉を恐喝したる原因及動機に就き被害者の主張に依れば市中に散在したる小料理店中の一部が本年六月十八日限り從前の營業地を引き拂ひて大和新地に移轉するの事となるや本年五月頃加害者黑川は各樓家屋の建築を請負ひ工事監督に出張し居たるが八月中萬遊樓に登樓し三木の馴染なる前記あいを敵娼に遊興せしが九月中旬頃に至るや黑川はあいに向ひ落籍すべしとて其承諾を求めたるもあいは前記三木と夫婦約束ある事とて直ちに返答を為し兼ね一應親元と相談の上御返辭すべしと言葉を濁し置き早速三木に相談せしに三木は何分にも相手が土木請負業者と云ふに迂濶に干渉せば後日迷惑の生ずる事あるべしとてあい自身の考へ通りにすべしと返答したり(つゞく)

●圖々しき淫婦みち

▽妾奉公中に情夫狂

京城古市町居住中西澤藏(三七)が自己の妾たりし京城水票橋通り金本正男方居住山口縣人金村みち(二三)を傷害したる事件は當時『私が殺されます』と題し報道せしに被害者金村みちは傷害の告訴を提起すると同時に本社に對し右事件報道の內容に他人と私通したる事實否認の取消しを申込みたるが該傷害事件爾來京城地方裁判所檢事局境檢事の手にて取調中の處愈々終決公判に付せられたるが境檢事起訴事實の大要を聞くに加害者澤藏は四年前より被害者みちと相知り合ひなりしが昨年五月より情を通じたり然るにみちは夫れと相前後して南大門驛車掌尾西某と關係し昨年八月京義線新義州に於て尾西と夫婦生活せしも約二ヶ月にして別れ京城に戾り澤藏を手賴り尾西との關係を秘し奉公し度き旨を告け其の庇護を受け九月より旭町一丁目洋食屋ケーオーに住込み中再び澤藏と關係し金を貰つては尾西に貢ぎ居たるを澤藏に覺られ又々關係を絕ちたるが十二月に至りみちより只管謝罪せしより關係するに至り本年一月澤藏の本妻さめが內地に歸省したるより留守番の名義の下に同棲せしがみちは天性多淫の女とて澤藏方に下宿せる京城郵便局吉谷雄一なる者を挑み同人と情を通じ本年九月頃には夫婦約束を為し吉谷は他に宿を替へたるより吉谷と會する便宜を失したるにぞみちは澤藏に向ひ吉谷に家を持たせ妾として閣ひ呉れと云ふより神ならぬ身の澤藏はみちに斯る魂膽ありとは知らず其の要求を入れたるよりみちは澤藏の目を忍び吉谷と樂しみ居たり然るに澤藏は去月二日大坂迄旅行したるに留守中は公然みちと吉谷とは夫婦氣取りに同棲したるを澤藏歸京後斯くと聞きて此の傷害事件を起したる次第なりと

社告

玉稿の御寄贈

烏兎匆々愈極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近づき申候就て本紙が此際愛顧各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位の玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

本紙新年畫附錄は本紙が特に邦畫の大家川端玉章翁に依囑して成りたる勅題松上鶴の祝畫にして其高尚優美なるは贅言を要せずと被信候

十二月 京城新報社

●歳暮の贈答品(三)

……各商店主の談……

▲日韓書房 歳暮の贈答品としては小說類が重で次ぎが家庭向きの本位で一圓から三圓前後圖書切手は可なり多く出ます

▲山口呉服店 先づ進物用として中流以上になりますと高貴織御召米澤大島大抵七八圓から十八九圓ソレに袴地十圓から三十圓の處です中流以下は銘仙綠織六七圓乃至八九圓で勅題模樣の半襟帛紗一圓から三圓位までが好く賣れます好みは官吏側は一體華美の樣で實業家側は地味です然し官吏側とても三四年前の樣な莫迦らしい程華美ではありません

▲末永呉服店 高貴織御召の七八圓から十五六圓と云つたものが進物として盛んに出ます袴地は十二三圓位の處です昨年は官吏側の進物は全くありませんでした銀行會社員又は請負師の社界で隨分進物用として賣れます然し官吏側で進物が貰へなければソレ〳〵需めますから店の賣れ高には大した影響はありません

▲伊藤下駄店 進物用として男物では柾の一圓前後が一番多く女物は後丸と云ふので一圓から一圓二三十錢空氣草履が二圓前後です小兒物は比較的安いのが出ます並で六七十錢から上が一圓四五十錢です別に當年は新奇の流行はありません

▲澁谷商店 砂糖は原料糖の不作の為め三ヶ月以前から昨年に比して二割方高値を唱へてゐます目下三盆白が一斤十三錢正月の必要でありながら價格が內地の半額ですから馬鹿にして進物用には餘り當地では出ません然し中流には隨分需要があります五斤七斤十斤十五斤二十斤と箱入れになつて居ります

官製煙草 朝日

●腸チブスは癒らぬか

腸チブスに罹つた人は大抵死ぬものであらうか?醫學上の智識を有たぬ多くの人々は直ぐと悲觀して了ふ樣に思はれるが隨分醫術の進步した今日其樣に容易に死ぬものでは無からう然し朝鮮では死亡率が內地に比して著しく多く思はれるので直接之れを取扱ふ先生方の意見を聽いて見た

漢城病院長 馬淵醫學士談

一體傳染病には流行の强弱と性質の良不良とがある例へば三十七年頃京城に流行した猩紅熱は猛烈で多數の兒童の生命を奪ひ去つたので大恐慌を來たしたが本年のは比較的良好である相だ腸チブスに於ても亦然りで一面流行の性質と土地の狀況とに多大の關係がある併然腸チブス患者とて決して無暗に死ぬものではない只恐れるのは併發症を起こすことである之れさへ無くば大抵は助かる一番大切なのは恢復期で併發症が無く經過が良好であつても熱の下降すると同時に非常に食慾が增進する際ウッカリ固形物を與へると腸出血を起こして往々死ぬことがある然し之れとて決して死ぬとは斷定は出來ない福岡大學の死亡率統計では十プロセントの二位です治療法は解熱劑を與へる人も稀れにはあるが、自然の經過を待つて

病理的變化に從ひ適當の處置

を執る外はない要するに臨時の處置が適當で看護が充分に行き屆き患者自身が我儘さへせねば大抵は全治するものです(在文責記者)

長唄嗜好會

●入場無料●

同會は八日午後六時より壽町壽座に於て左の番組に因り本年の納會を擧行する由なり

納會番組

曲目	出演
長唄 高砂丹前	淸華亭吉 三春駒 きくや菊枝 三味線
同 鞍馬	淸華亭若龍 三味線 芳村伊壽江
同 鶴龜	花若月 同 龍 三味線 きくや文之助 芳村伊壽江 尺八 牛田
同 四季の眺	同 勝利 三味線 芳村伊壽江 桃太郎
同 秋の色草	井門助六
同 賤機帶	芳村孝十郎 三味線 芳村伊壽江 淸華亭政菊
同 松の綠	翔翠江戶奴 三味線 芳村伊壽江 きくや菊枝
戾橋(常盤津)	井門政子
保名狂亂(淸元)	翔翠壽美江 三味線 江戶奴
長唄 元祿花見踊	芳村孝十郎 文之助 勝利 若龍 江戶奴 三味線 芳村伊壽江 春吉 菊枝 政菊 桃太郎

●醸酒有薰發賣所 當市明治町醸酒有薰發賣元首藤商店にては兼て黃金町に於て酒問屋として理想的店舗新築中の處愈々落成本月より移轉し從來よりも一層盛大に賣出す由因に同本店は內地に於ては西國にて最大の酒造家なる由

アセチリン

●五雲會素謠例會 十日午後十二時半より壽町有明樓に於て例會開催すと番組左の如し 鞍馬(吉住氏、ッ中田氏、中西氏)實盛(高木氏、野村氏、ッ小泉氏)鸚鵡小町(松田氏、水越氏)葵上(上郡氏、神境氏、大淺井氏、毛利氏)野守(笹井氏、田淵氏)外に仕舞、囃子數番

●樂謠會素謠例會 十日午前正十時より旭町白水松壽庵に於て第十五回例會開催すべしと番組左の如し 合甫、田村、熊野、蟬丸、富士太鼓、竹生島、八島、小原御幸、葵上、山姥、張良、景淸、角田川、江口、通小町、三井寺、船辨慶、猩々、獨吟、囃子、仕舞

●寄席た神田ッ兒 大和町二丁目請負業近藤方東京市神田生れ戶塚軍次郎(二七)は六日午後十一時頃新町三桝屋に登樓し遊興費一圓八十錢が高い安いとて仲居と爭論を初め派出所に突き出され說諭放免

●浮浪者拘留五日 長崎縣人當時住所不定扇市六(四四)は一定の住所職業なくして諸所を徘徊し浮浪犯として南部署に拘留五日に即決せらる

●演藝だより

▲浪花館 三遊亭若遊三一行の落語手踊り花々敷好人氣に打續けつゝあるが押し詰つた數へ日をお運び下さる御親切に對し其儘棄てゝも置けないとのお心から七日夜より十錢均一の大勉強

▲歌舞伎座 大勉強の中村歌玉一行八日の代狂言は一行得意の『佐野鹿十郎』にて大序より大切迄打通し

▲壽座 別項記載の如く長唄嗜好會四十四年度の納會として同座に於て大溫習會を開く木戶場代は勿論の事下足料も無料との事なれば何誰もお早いが勝因に本町一丁目靑木堂主人久保田金次郎君は井門の政子の三味線にて常盤津を唸る由なりと

仲居評判記(七)

開進亭のお富士

極めて氣輕を以て評判せられて居る旭町三丁目の開進亭にお富士と云ふ仲居があつたとサ、此お富士生れが駿河駿東郡とあれば一寸お話の種にもなるのだが世の中の事はマ、ならんもので實は九州福岡縣博多市は相生町の生れ本名を白木ふじと申し當年お月さまよりは七つ上の二十七歲だけど彼の兒も生まず此の兒も生まぬ未だに獨身だ、と自分で云つて居るのだが恐ろしくて保證は出來ぬ、容貌は十人並であるがパッチリとした眼許、揉み込んだ如な髱は可愛らしいが厭うも慄う笑うのが苦になる樣な素振りが見へる、要するに少々無愛嬌である、夫れが爲めだらう少し年齡が老けて三十位に見へる、稀には『三十二か三か』なんて眞面目にお聞ひなさる方もある、スルトお富士眉を顰めて『隨分ですねえ』と隨分らしい顔をする、かと思ふと中にはお世辭のお巧手があつて『お富士お前は一寸見ると老けてるが本統は二十四か五かだらう』なんて中心では舌を出して居ながら嬉しがらせを云ふと根が正直なお富士、此時許りはニーッコリ笑つて『何をハツミましよう』と嬉し相である、開進亭に二ヶ年勤めて居る廉を以て仲居頭をして居るが人の惡い下の仲居にや、ともすると胡魔化されて居るとかだお富士曰く『主人も帳場さんも正直一方の無愛想者ですから仲居も餘り喋りません餘んまり喋ると却つて藝妓さんが困りますもの』と云つてツウンと澄して居る、同亭の藝妓榮枝、巴枝等曰く『お富士姉さんの掛りだつたらチット心配が無いから安心してゝよ』と笑つて居る、一短一長ありと云ふ所であらう。

△四日の午後一時半頃南大門小學校橫巷路に於て鮮人少年擔夫の後方より自轉車を乘り掛け足部を負傷せしめたるまゝ、何等の處置も執らず再び自轉車に乘じて疾驅し去つた年頃二十二三の詰襟洋服姿の日本人があつたが實に不埒の奴であると思ふた(通行人)△商店を構へ盛んに民業と競爭致し居る郵便所が有るが差支なきや(同生)△郵便所は差支わなし(小僧)△京城府の會計は何して居る學校の金迄取上げて證書の書き樣が何うしたの斯うだのと小言斗

(困逆中)△本町の某所に現はれた僕は燕子の二代目にならんかと心配するもので(貧學生)△某御料所下の長居は每日朝から集合して居る(厄介生)△學士と云へば嚴格だが其部下より他十歲も年長の軍人〇〇などの宗なたて居る而して夫れある(不思議生)△發行停止に同情しくばくぞ雪の竹』厚意を謝す(係)△村泉の娘が光るもと私通してるとの噂(係)

生徒募集廣告
一本科生第六回生徒募集ス入學志願者ハ來ル十二月二十日迄ニ本所ヘ願出ツヘシ
一試驗期日 明治四十五年一月
一試驗科目 國語、算術、作文
但詳細ハ本所ニ就キ承合ハサルヘシ
明治四十四年十二月
朝鮮總督府工業傳習所

休航廣告
江景公州間定期船十二月一日ヨリ冬期間休航
但シ臨時運航ノ需ニ應ス
中條運送芙江支店

指環 眼鏡 時計鎖及附屬品
金銀盃 金銀小間物及鉛類
貴婦人用貴金屬製品一切
貴金屬美術品製作所 吉川金光堂
京城明治町壹丁目 電話一五一一番
▲寶石入貴金屬製品 ▲其他金銀細工調製
▲弊店の特色 親切を旨とし確實に御調製可申候

廣告
紐育スタンダードオイル會社製品
松函石油(壹函に付二枚づゝ)
勝利石油(但し壹罐は壹枚の事)
右ノ通リ京城聯合繁榮會景品附賣出シ仕候間陸續御買求メノ程奉希候
十二月六日
京城石油商組合

眼科專門
大韓醫院眼科部長
京城本町六丁目(元軍司令部通り)
金井眼科醫院 電話二五五六番
金井豐七

東京店仕舞大安賣
十二月七日より 二割以上三割引
今回都合上轉業之爲め店仕舞致候に付東京仕入直段見切大安賣仕候間陸續御購求願上候
あとにもさきにもたゞ一度
京城大和町一丁目 藤井出張店 電話二百五番

轉業 書畫 骨董 桐箱及指物業
引續 麻裏 東京足袋 うります

●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服御小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店 電話九九三 發電略(ク)

健胃下腹丸(けんゐかふくぐわん)
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番

アンチヘブリン
四季の引かぜ、はやりかぜ、ねつ病一切づつうの良薬
感冒解熱特効剤
發賣元 京都市三条柳馬場角 川杉資善堂藥
價 二日分金拾戔 五日分金廿戔
代理店 京城南大通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一六〇番 振替口座京城十六番

精神感應(催眠術無催眠)ニ基キ諸病ノ治療 惡癖ノ矯正ヲ為ス
大剛庵 南山町一丁目 六十四番戸ノ一

(正價表御申越次第進呈)
銃砲火藥類直段特別割引可仕候
㊡共榮社小賣部
仁川本町三丁目(電話七五番)

懷中良薬 仁丹
消化と毒けし
●諸君いつも仁丹を召上れ
香味、芳香優絶の仁丹は
●咽喉傷り病 ●頭痛目眩昏倒 ●船車の酔悪酔 ●胸腹痛み吐下 ●酒煙草の味増 ●悪疫預防等に
……最もよくきく賢藥
朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

各種寫眞材料機械 時計貴金屬製品 御婦人用装身具
歐米各國自轉車各種
ヴイクター會社蓄音機械
銀製品各種
直輸入元
京城本町四丁目 織居本店 時計部專用電話(六六二) 寫眞部專用(一〇九) 振替貯金口座二二三
仝 二丁目 織居自轉車部 電話(四〇八)

眞正のアイボリー石鹼
IVORY SOAP アイボリー石鹼
米國製 アイボリー
石鹼に僞物あり 包紙に御注意を乞ふ

英國セフヒールド市 シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
和洋金物商 京城本町五丁目 釘本藤次郎本店 (電話四五番)電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

◎夜間診察は九時迄とす
◎肺結核及結核性疾患の最新注射は實費診療す
△六〇六號注射需に應す
仁川病院 電話十六番

營業項目
牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜産物賣買
家畜飼糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜産業一切
京城南大門外 荒井牧場(電話一〇五六番)
江華島 荒井第二牧場
○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委託致候間御買求願上候
○洋牛及朝鮮改良種多々繁殖致候間從來通同所へ御用命希上候

元祖 食パン
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
製造御小賣商 京城太平町二丁目 相川兄弟商會(電話一一八九番)
釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店(電話二七六番)

齒科治療
ドクトル 中村安子
本町六丁目(齒もと横町)
女子見習募集委細面談
(電話一五八三)

最上醬油
㊔
釀造元 仁川港萬石町 高杉醬油釀造場 電話七六五番

政宗 正則 正淸 釀造元
酒 小賣壹升に付三十五錢
卸賣は特別割引可仕候
淸酒 味淋 燒酎 並に日用食料品雜貨類
釀造元 京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部 電話百七十七番

一日にして効能は現る
複方タムルリン
りんびやう らいびやう りん病らい病藥
緒方、高橋兩病院長有効證明
價 三日分廿錢 七日分四十錢 十四日分七十五錢
本舖 日本大阪 高橋盛大堂
代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂 同南大門三丁目 新井藥房
到る所の藥店に販賣す

M.C.C.
エムシーシー
土耳古紙卷
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

齒科診療
京城本町二丁目三越呉服店前 野田齒科醫院
仁川仲町三丁目末永呉服店隣 野田齒科醫院分院

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略ナ)
坂倉支店

印刷と紙
諸官衙御用
和洋帳簿 印刷 各種製本
京城本町六丁目 播本(ハリモト)商店 電話百拾番

物理化學機械 模型標本類 體操及運動具 教具校具一式 測量製圖機械 水彩及油繪用品一式 和洋紙帳簿一切 歐米文房具
●新案韓語栞發賣所●
●國語指南●
㊥ 朝鮮京城本町三丁目 平田商店 教育品部 用達部
電話一一五番 電信略號(ヒ又はヒラタ) 振替口座京城四六八番

◎誠ハ弊店ノ主義也

登録商標 誠
釀造元 仁川港宮町三丁目 深見勝三郎 電話二四八番 電信略號(フ)

高等淸酒 サワノツル
發賣開始
攝津灘新在家 石崎合資會社釀造
一手大卸賣 仁川本町 河野本店 電話(二八)番

効能ある溫泉 鐵冷溫泉
旅館並に浴客席貸
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行北横手)
廣安喜次郎 電話一四一一番

▲月經(つきやく)をつうじ子宮病(しきうびやう)を全治(ぜんち)す
●月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進ます、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
二十世紀の新劑 最良新藥 月經不順
每月丸(まいげつぐわん)
價 一日八錢半週分廿五錢一週五十錢 二週分壹圓、三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舖 大阪心齋橋一丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋馬喰町 丹平商會支店
▲賣捌は東京市内其他各店に取次ぐ
登録商標 にせものに注意

代理店 京城南大通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一六〇番 振替口座京城十六番

にせ物御注意
胃病ゐそうゐん 飲みすぎ食ひすぎ かいいさん
猪飼胃散
定價 十五戔 廿五戔 世五戔 五十戔 一円
本舖 大阪江戸堀 猪飼史郎
振替大阪七七八
代理店 京城南大通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一六〇番 振替口座京城十六番

特約販賣店 仁川 高雄支店

磨擦白米
龍山精米所

キ
十二月廿一 滊船出帆 廣告
島行 省丸 十二月十日午前九時
州行 天草丸 十二月九日午前四時
州行 成歡丸 十二月八日午前八時
州行 安東丸 十二月七日午前三時
芝行 三省丸 十二月九日午前十時
仁川本町四丁目 電話一七〇 合資會社 秋田商會船舶部